

学校法人東京滋慶学園 原宿ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 自己点検・自己評価 評価表

【令和8年5月19日実施】

令和7年度自己点検自己評価(令和7年4月1日～令和8年3月31 日)による

自己点検・評価項目		自己評価	自己点検・評価項目 総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
自己点検・評価項目		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
基準1 教育理念・目的・目標と職業教育のマネジメント						
小項目1-1 教育理念、目的及び目標の設定等				学科別の育成人材像を起点に、産学連携・フロー型教育・シラバス運用を有機的に連動させている点は、本校の特色である。理念と実践の一体化を重視した教育運営を全校的に行っている。	3 2 1	教育理念をよく具現化して教育活動にあたっていると思う。フローが各科わかりやすく学生への情熱を感じた。
1-1-1 教育理念等を踏まえ、当該専門学校として、目的及び目標を設定し、学科ごとに育成する人材像を明確にしていること。	3	本校は「実学教育・人間教育・国際教育」を教育理念として掲げ、社会で活躍できる職業人の育成を目的に教育活動を展開している。これらの理念を踏まえ、学科ごとに育成する人材像や教育目標を明確に設定し、教育課程、授業、実習、学校行事を一体化したフロー型教育として体系的に具体化している。 また、年度ごとに重点目標を設定し、進級率や出席率、学修状況等の指標を用いて教育成果を検証し、改善につなげる仕組みを構築している。担任力強化や教育DXの活用により、教育理念が形骸化せず、日常の教育実践として機能する体制が整っている。				
小項目1-2 職業教育のマネジメント体制の整備				進級率や出席率等の指標を活用した教育マネジメントと、担任を軸とした支援体制を組み合わせた運営を行っている点が特徴である。	3 2 1	担任力向上に向けた研修など取り組みがされていて素晴らしいと感じた。キャリアセンターとの連携も密で手厚くフォローできている。情報共有の仕組み化が来ている。
1-2-1 職業教育を推進(教育の企画・設計・運用、検証及び改善・向上等)するために必要なマネジメント体制を整備し、有効に機能していること。	3	本校では、職業教育を推進するためのマネジメント体制として、教育の企画・設計・運用・検証・改善を一体的に行う仕組みを整備している。教育事業計画に基づき、学科ごとの目標設定を行い、定量・定性両面から教育成果を確認している。 担任力強化や教育DXの導入により、学生一人ひとりの出席状況、学習状況を可視化し、課題を早期に把握して対応する体制が確立している。これらの取組は教育改善に直結しており、職業教育の質向上に寄与している。				
基準2 教育課程、教育の実施、学修成果						
小項目2-1 教育課程の編成と授業科目				育成人材像から逆算した教育課程設計により、専門性と実践性を両立したカリキュラムを構築している。	3 2 1	教育課程の編成と実践にあたり、他校の動向や業界の動向を踏まえてよく研究され、努力されていると思う。 年間スケジュールが工夫されていて良いと感じた。また、学外や地域の意見を取り入れているのは素晴らしい。
2-1-1 学校の目的・目標及び育成人材像を実現するための教育課程編成・実施方針を定め、方針に基づき、必要な授業科目を体系的・段階的に配置した教育課程を編成していること。	3	教育理念および育成人材像に基づき、教育課程編成・実施方針を明確に定め、必要な授業科目を体系的・段階的に配置している。学年ごと・学期ごとの到達目標を設定し、基礎から応用、実践へと段階的に学修が進む構成となっている。 各学科において教育指導要領やシラバスに学修内容と評価方法を明示し、学生が学修の見通しを持って取り組めるよう配慮している。教育課程は定期的に検証され、改善が図られている。				
2-1-2 教育課程編成のために、教職員及び企業等の役職員その他の委員により組織する教育課程編成委員会等を設置し、年2回以上開催していること。 【職業実践専門課程】	3	教育課程の妥当性を確保するため、教育課程編成委員会を設置し、業界関係者や外部有識者の意見を取り入れている。委員会は年2回以上開催され、教育目標や授業内容について多角的な検討が行われている。 委員会で得られた提言や意見は、教務会議等を通じて学内で共有され、教育課程や授業改善に反映されている。				
2-1-3 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設していること。 【外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	2	外国人留学生が日本国内で就職し、円滑に職業生活を送るために必要な日本社会理解を促進する授業科目を体系的に編成している。日本語による実務・接客、社会制度、労働慣行、就職活動等を学ぶ内容を通じ、キャリア形成を支援している。 一方で、留学生の理解度や経験に差があるため、今後も内容の工夫と支援体制の充実が必要である。				

小項目2-2 教育課程の実施				3	2・1	業界との連携を深めるなかで、実践的な実習・演習を実施されていて大変良いと思った。 企業と連携が取れ、実習経験が出来るのは就職した時の創造が出来ると感じた。
2-2-1 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技等、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、学校が定めた基準に基づき成績評価を行っていること。	3	授業科目の内容に応じ、講義・演習・実習・実技等の適切な授業形態を組み合わせて教育を実施している。全科目でシラバスを作成し、到達目標や成績評価基準を学生に明示している。 成績評価は科目ごとの評価基準に基づき、公正かつ厳格に実施されており、成績に関する問い合わせへの対応体制も整備されている。	実技科目においてはルーブリック評価を導入し、評価基準の明確化を進めている。			
2-2-2 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という)の授業を行っていること。また、教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。 【職業実践専門課程】	3	企業等と連携した実習・演習を教育課程に組み込み、実践的な職業教育を行っている。実習前後に到達目標の共有や振り返りを行い、学修成果を授業改善に活用している。 連携先企業との協力体制も整備され、教育効果の高い実習が実施されている。	業界・現場と直結した実習経験を通じ、即戦力育成につなげている。	3	2・1	
小項目2-3 単位・卒業認定				3	3・2・1	学生に目標を明確化する指導をされており、大変良いと思った。 目標や評価基準の明示は、休まない習慣を身につけるのに良いと感じた。
2-3-1 学校の目的・目標及び育成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業を認定していること。	3	学科ごとに卒業認定方針を明確に定め、方針に基づいた単位認定および卒業認定を行っている。成績評価は公平性・妥当性を重視し、複数教員による確認体制を整えている。 卒業判定は進級・卒業判定会議を通じて行われ、教育目標到達状況が適切に確認されている。	卒業時到達目標と評価基準を明示し、学生に周知している。			
小項目2-4 学修成果目標の達成状況				3	3・2・1	1年次から進路について考える環境があるのは良いと感じるた。
2-4-1 卒業認定方針に明示した学科・コースごとの職業能力(資格・免許等の取得、必要な知識や技術、技能、職務遂行能力の修得など含む。)の学生の修得状況を把握し、評価していること。	3	卒業認定方針に基づき、学科・科目ごとに修得すべき職業能力を設定し、学生の達成状況を把握・評価している。成績や資格取得状況等を通じ、学修成果の検証を行っている。 評価結果は教育内容の改善や指導方法の見直しに活用されている。	ルーブリック評価を活用し、実技分野の学修成果の可視化に取り組んでいる。			
2-4-2 学生の進路に関する目標を定め、その目標を達成していること。	3	学科ごとに進路目標を設定し、担任とキャリアセンターが連携して進路支援を行っている。就職率や専門就職率等のデータを把握・分析し、教育改善に活かしている。 業界理解を深める取組も段階的に実施している。	1年次からキャリア教育を段階的に実施している。			

基準3 学生の受入れ、学生支援					
小項目3-1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理				3・2・1	今の学生にとってはSNSの発信やリテラシー教育をしているのは素晴らしいと感じた。 定員も過度にならず、学生一人一人に目を配れる、支援可能な人数を収容しているので保護者としては安心して通学させる事ができている。
3-1-1 入学者の受入方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3	本校では、卒業認定方針および教育課程編成・実施方針と整合した入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を明確に定めている。募集要項やホームページ等を通じて、求める学生像や入学後の学修内容を具体的に示し、入学希望者に対して十分な情報提供を行っている。 入学選考においては、総合型選抜、推薦入試、一般入試など複数の方式を設け、志願者の学修意欲や適性を多面的に評価している。可否判定は複数名による会議体で行われ、公正性・透明性を確保している。	入学者理解を重視した面談や選考記録の活用により、入学後の学生支援につなげる体制を整えている。		
3-1-2 学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	2	学生の受入れについては、学科ごとの入学定員および収容定員に基づき、適正な管理を行っている。教育内容や教員配置、施設・設備の状況を踏まえながら、過度な受入れとならないよう配慮している。 年度ごとの在籍学生数や進級状況、退学状況を分析し、募集計画や教育運営の改善に活用している。	修学支援新制度機関としての要件を意識した定員管理を継続している。		
小項目3-2 多様な学生に対する修学支援				3・2・1	多様な受け入れを進める上では、当事者への理解だけでなくマジョリティ側の困りごとにも目を向ける事が大切だと感じた。学校側で出来る配慮に限界があると思うが、その分野での信頼や知名度向上にはこうした姿勢を持つことにも繋がると思う。 留学生についても、変わりなく支援されている。
3-2-1 適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生の修学に関する支援を行っていること。	2	障がいのある学生、留学生、社会人経験者など、多様な背景を持つ学生が安心して修学できるよう、個別相談を基盤とした支援体制を整備している。担任、教務部門、関係部署が連携し、学修上の配慮や生活面での支援を行っている。 学生一人ひとりの状況やニーズに応じた柔軟な対応を行うことで、円滑な学修継続を支援している。	画一的な対応ではなく、個別性を重視した修学支援を行っている点が特徴である。		
3-2-2 特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	2	留学生担当職員を配置し、在籍管理や出席状況の把握、進路(就職)指導を適切に行っている。留学生は日本人学生と同一の教育環境で学び、授業や行事を通じた交流の機会も確保されている。 少人数体制ではあるが、個々の留学生に目を配った支援を行っている。	留学生の状況に応じた丁寧な進路・生活支援を実施している。		
3-2-3 学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	学生の経済的負担軽減を目的として、奨学金制度や学費分納制度等の経済的支援体制を整備している。学生および保護者に対し、制度内容や申請手続きについて適切に周知している。 学生サービス部門を中心に、担任や関係部署と連携し、個別相談にも対応している。	経済的理由による修学断念を防ぐため、相談しやすい体制を維持している。		

小項目3-3 学生生活に関する支援				3・2・1	学生の生活全般について行き届いた配慮がされていると思った。 多くの時間を過ごす、学校にしっかりとした心理的安全性が守られている事は重要。また、親、友人、友達、担任以外に話したい事を話せる環境がある事は素晴らしい。また、身体が資本となる業種なので、学生のうちから、健康管理を意識する機会があるのは良いと感じた。 スクールカウンセラーは初めの1歩が行きづらいつと感じる。1度全員がカウンセリングを受けてみると、カウンセラーへの相談のハードルが低くなるのではないか？
3-3-1 カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	資格を有するスクールカウンセラーを配置し、相談室を設置することで、学生が安心して相談できる環境を整備している。担任制を活かし、日常的な声かけや面談を通じて学生の変化を早期に把握している。 学業面・生活面・心理面など、多様な相談に対応できる体制が機能している。	心理的安全性を重視した学生相談体制が構築されている。		
3-3-2 留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	留年や退学を検討する学生に対して、担任を中心に教務、学生支援、進路部門などが連携し、個別対応を行っている。出席状況や成績、生活面の変化をもとに早期把握を行っている。 保護者を含めた面談を実施し、学修継続や進路再検討を含めた支援を行っている。	複数部署が関与する組織的な支援体制が構築されている。		
3-3-3 学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、定期健康診断を確実に実施している。診断結果に基づき、必要に応じたフォローを行っている。 医療機関と連携し、学生の心身の健康保持に努めている。	医療機関と連携した健康管理体制を整備している。		
3-3-4 学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	担任およびキャリアセンターが連携し、学生一人ひとりの希望や適性に応じたキャリア・就職支援を行っている。求人情報や業界動向を適切に提供し、就職活動を支援している。 段階的なキャリア教育を通じ、学生の職業意識形成に寄与している。	担任制を活かしたきめ細かな就職支援が特色である。		
小項目3-4 学生の自主的な学習等の促進に対する支援				3・2・1	学生を置いていかない対策が取れているのは良いと感じた。 美容師免許プランでは、国家試験科目の課題が月1程度で送られてくるが、学校の授業がない中で自力で行うのが、高校生には中々難しいと感じていた。きちんと国家試験合格出来るのか不安になる事がある。
3-4-1 学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	3	入学前教育、導入教育、補習授業等を通じて学生の学力や学習状況を把握し、円滑な学修を支援している。担任による定期的な面談を行い、必要に応じた個別支援につなげている。 学習のつまずきを早期に把握し、学修継続を支援する体制が整っている。	学習習慣の定着を重視した支援を行っている。		
3-4-2 正規の授業時間以外に行われる、課外活動など学生の自主的な活動を充実させるため、適切に支援していること。	2	課外活動や自主的な学習活動に対して、教職員が助言・支援を行っている。学生の主体性や協調性の育成につながっている。 部活動はダンス部・DJ部・クリエイティ部・モルック部が活動している。	学年・学科を越えた交流の機会を提供している。		

基準4 教員・教育実施組織					
小項目4-1 教員の配置、募集、採用			3・2・1	教員不足が無く運営出来ている。	
4-1-1 教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員について、採用基準等を整備し、適正に運用していること。	3	法令に基づき、必要な資格や要件を備えた教員を計画的に採用・配置している。採用基準や人事制度を整備し、公正かつ適切な運用が行われている。教育課程を安定して実施できる教員体制が確保されている。			専門性と教育力を重視した教員配置を行っている。
小項目4-2 教員の組織編制等			3・2・1	先生方の熱意が伝わり大変感動した。業界未経験には厳しいのかなと感じた。設立し20年以上経つが、2年～3年目の職員が多いのが気になった。	
4-2-1 学校の目的に応じた教育を実施するために、適切な業務分担、責任体制のもとで分野の区分ごとに、教員の組織体制を整備していること。	2	学科ごとに業務分担や責任体制を定め、教育活動を実施している。常勤・非常勤教員を含めた体制の中で、必要な連携は確保されている。一部、組織体制の明確化について今後の検討余地はある。			業界経験者を積極的に登用した体制を維持している。
小項目4-3 教員の資質の向上			3・2・1	先生方が率先して学生の教育のためのスキルアップに努力されていることが分かった。お客様体験や実習を通して、リアルを知することは重要だと感じる。また。会社を知ってもらえるきっかけにもなり、企業側も助かります。現場の教育を取り入れた授業があるのはとても良い。	
4-3-1 学校の授業の内容及び方法の改善を図るためのFD(Faculty Development)など組織的な取組や教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3	FDや産学連携研修を通じて、教員の教育力・指導力向上に取り組んでいる。研修成果は授業改善に活用されている。			業界と連携した実践的研修が教育の質向上に寄与している。
4-3-2 教員の専攻分野における実務に関する知識・技術、技能を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にやっていること。 【職業実践専門課程】	3	教員が専門分野における実務知識・技術・技能を継続的に修得・向上できるよう、企業や業界と連携した研修を組織的に実施している。業界の最新動向や現場で求められる技術を把握し、教育内容に反映している。これらの研修内容は授業や実習指導に活かされ、実践的な職業教育の質向上につながっている。			業界関係者や企業と連携した研修を通じて、現場の最新動向を教育内容に取り入れている点は、本校の強みである。
4-3-3 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にやっていること。 【職業実践専門課程】	3	企業等と連携し、教員の授業力および指導力の向上を目的とした研修を実施している。実務に基づく指導方法や評価手法について学び、学生の理解度向上につなげている。研修成果は授業改善や学生指導の質向上に反映されている。			研修成果を学内で共有し、組織的な指導力向上を図っている。
基準5 教育環境					
小項目5-1 教育環境の整備点検、改善等			3・2・1	安心している。	
5-1-1 専修学校設置基準及び関連法令に基づき、教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。(補修、更新含む)	3	専修学校設置基準および関連法令に基づき、教育に必要な施設・設備・機械器具を整備している。定期的な点検や補修を行い、教育活動に支障をきたさないよう管理している。実習内容に応じた設備環境が確保されている。			実務を想定した設備環境を維持している点が特色である。
小項目5-2 安全対策、防災組織			3・2・1	年間計画が明確になっている事で安心感がある。	
5-2-1 学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	中期事業計画に教育目的および教育目標を明確に位置付け、年度事業計画と連動した学校運営を行っている。安定した財務基盤のもと、教育活動を継続的に実施している。計画に基づく運営管理体制が機能している。			法人と学校が連動した計画管理体制を整備している。

基準6 教育活動の基盤と情報の公表					
小項目6-1 中期事業計画と財務基盤				32・1	収支が安定し事は重要、今後も継続していただきたい。
6-1-1 当該専修学校の中期事業計画又は設置法人の中期事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3	学校運営に必要な組織体制を整備し、教員・職員が連携して業務を遂行している。学校運営会議等を通じ、意思決定および情報共有が適切に行われている。 安定した学校運営が維持されている。	会議体を活用した組織的運営が特徴である。		
6-1-2 当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。 【修学支援新制度機関要件の確認】 【外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	本校では、教育活動を安定して遂行するために必要な財務基盤を確立し、適切な財務管理を行っている。設置法人が策定する中期事業計画および年度計画に基づき、収支管理を実施し、教育・学生支援活動が継続的に行える体制を整備している。 財務状況については、法人本部による監査や定期的な確認を通じて健全性を維持しており、教育活動に支障をきたすことなく運営されている。また、修学支援新制度機関として求められる要件を踏まえ、教学面と財務面の両立を意識した運営を行っている。	法人本部と連携した財務管理体制のもと、安定した教育環境を維持し、学生の修学支援を継続的に実施できる基盤を確保している。		
小項目6-2 学校運営				32・1	定期的に会議を行い、学校・職員の向かう方向を揃えることは継続して行って頂きたい。
6-2-1 学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	3	学校運営に必要な組織体制を整備し、教員・職員が連携して業務を遂行している。学校運営会議等を通じ、意思決定および情報共有が適切に行われている。 安定した学校運営が維持されている。	会議体を活用した組織的運営が特徴である。		
6-2-2 学校運営に必要な知識・技能等を身に付け、意欲及び資質を向上させるためにSD（Staff Development）活動などの取組が行われていること。	3	SD活動や職階別研修、OJTを通じて、教職員の知識・技能および意欲向上に取り組んでいる。研修内容は日常業務に反映され、学校運営力の向上につながっている。 人材育成を重視した運営が行われている。	階層別育成と実務運動型研修を組み合わせている。		
小項目6-3 学校評価の実質と改善活動				32・1	外部からの意見を積極的に活用されていると思った。 学校の誠実さが伝わった。学内だけでなく、外部の意見で気づくこともあり、大変勉強になる。 他の専門学校と比べ、学習内容のスピード感が素晴らしい。 だからこそ、群を抜いたして頂きたい。 我々大人がどれだけ挑戦する機会を作り失敗する事はダメではない。怖い事ではないと教えてあげるかが重要。失敗したときに、なぜ失敗したのか？そこを感じ考えさせる時間や教えてあげられる環境が大事だと感じる。
6-3-1 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【職業実践専門課程】	3	学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会を開催し、外部からの意見を教育運営や改善に活用している。職業実践専門課程として年2回以上の委員会開催を行っている。 外部評価を教育改善に反映する体制が機能している。	外部意見を教育課程や授業改善に活用している。		
6-3-2 学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	学校評価を実施し、その結果および改善状況について情報を公表している。評価結果は組織的な改善活動に活用され、PDCAサイクルが確立している。説明責任を果たす体制が整っている。	継続的な学校評価を通じた改善体制が構築されている。		
6-3-3 学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的にやっていること。	3	本校では、学校評価の結果を踏まえた改善への取組を、組織的かつ継続的にやっている。自己点検・自己評価および外部評価の結果については、学校運営会議や関係会議体において共有し、課題の整理と改善方針の検討を行っている。 改善方針は年度計画や教育活動に反映され、教職員が共通認識を持って改善に取り組む体制が整備されている。改善の進捗についても定期的に確認し、次年度以降の教育活動や学校運営に反映するなど、PDCAサイクルが継続的に機能している。	学校評価を単発で終わらせることなく、改善計画の立案・実行・検証までを一連の流れとして運用している点が本校の特色である。組織的な改善活動を通じて、教育の質向上と学校運営の安定化を図っている。		

小項目6-4 社会からの理解と情報の公表				3・2・1	積極的に情報を公開されている。 学校の発信が素晴らしい。学校の努力を感じる。
6-4-1 当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	教育活動、学修成果、学校運営に関する情報を積極的に公表し、社会に対する透明性を確保している。Web等を活用した情報発信を行っている。説明責任を意識した運営が行われている。	複数媒体を活用した情報公開を行っている。		
6-4-2 教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取り組んでいること	3	産業界や教育機関等と連携し、教育目的・目標への理解を社会全体から得る取組を行っている。外部意見を教育改善に反映する体制が整っている。実践的職業教育として社会的評価を高めている。	産学連携を基盤とした教育改善を継続している。		